

品質

東京エレクトロングループは、開発設計段階から品質をつくり込み、すべての業務プロセスにおいて自らの工程品質を完結すること、また継続的な品質改善活動を実践することで、高品質の製品を提供します。

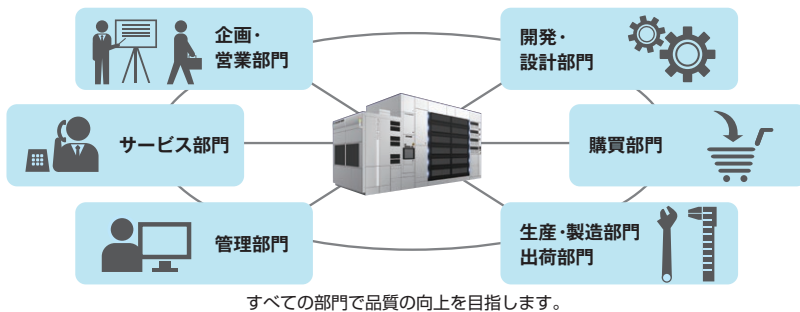
【設計段階での変更件数減少率】

35.5%減

品質向上のためには、開発・設計段階での変更を減少させることが重要です。継続して改善に取り組んだ結果、2013年度の設計段階での変更件数は2010年度と比べて35.5%減少しました。

高品質なものづくりに対する考え方

当社グループは、開発・設計部門、購買部門、生産・製造部門、出荷部門といった直接部門だけでなく、企画・営業部門、管理部門、サービス部門などの間接部門も一体となった品質改善活動を継続することで、お客さまのニーズにあった高品質なものづくりを推進しています。



品質推進体制

当社グループでは、全社横断的な活動として「TELグループ品質推進体制」を整備し、4つの部会を設置しています。これらの部会が中心となり、相互に連携しながら、効率的かつ安定的な品質の実現を目指し、お客さまの満足向上に努めています。

品質向上のための取り組み

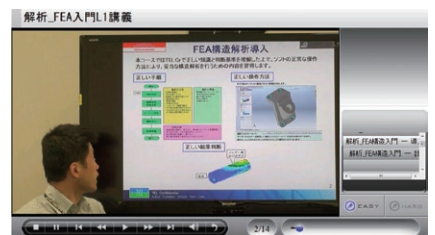
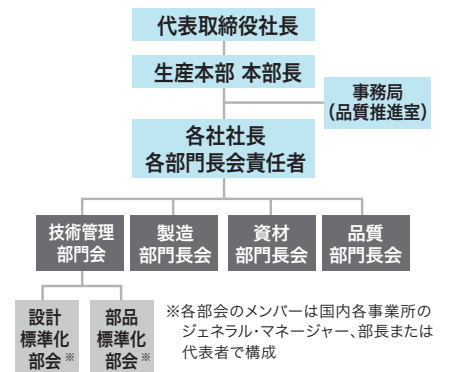
当社グループは、製品開発や設計の初期段階において問題点を早期発見・解決することにより設計品質を高めるフロントローディングの手法を採用しています。この手法においては、正しい解析方法を用いて問題点を突き止めることが必要です。そのため、設計品質とスキル向上を目的とした教育プログラムを拡充し、それに合わせた能力確認のしくみを構築中です。

今後は、「解析の適正利用による設計品質および装置品質向上」「効率的な解析利用による工数および開発コスト低減」「確認テストによる“スキル見える化”」「モチベーション向上」の取り組みを強化していきます。

Topics <ものづくりの現場から～TPM活動※1による品質・生産性の向上>

当社グループでは、総合的な生産性の維持・向上を目的としたTPM活動を10年前から継続して行っています。生産現場では、TPMの改善手法が浸透し、社員の人材育成にも役立っているほか、今では設計・管理部門とも連携しながら課題に向き合い改善を進めることで、品質・生産性が相乗効果により向上しています。

品質推進体制



Webを使った解析教育



用語解説 ※1 TPM活動：Total Productive Maintenance もしくは Managementの略。